

<議事要旨>

【座長】

ただいまから第3回議会のICT化及び情報公開検討部会を開会する。

はじめに、署名委員を指名する。間中りんぺい委員、おばた健太郎委員以上二人にお願いする。

『ペーパーレス化導入環境の検討について』を議題とする。

【事務局次長】

(資料1により説明)

【座長】

はじめに、項目1タブレット端末の機種を検討する。

まず最初に、説明の中であったタブレットにかかる経費について、調達方法及び契約年数別にトータルの金額を再度示していただきたい。

【事務局次長】

レンタル2年 1, 287万4, 400円

レンタル4年 1, 591万1, 720円

買い取り2年 1, 247万7, 850円

買い取り4年 1, 512万4, 090円

単純に比較すると買い取りの方が安価だが、別途故障時等の補償プランなどにより月々700円程度の費用と、故障時や紛失時に負担が発生するため、総額ではレンタルの方が安くなる。

【委員の意見等】

タブレットを導入した場合に、ペーパーレス化できる紙の枚数と、それを金額に換算したときにいくらになるのか。

【事務局次長】

議事係で扱っている委員会資料や予算書・決算書における紙の削減効果としては、年間約11万5,000枚であり、金額としては約55万円である。予算書・決算書を除くと7万8,000枚程度となる。ただし、人件費等は含まれていないため、印刷代、紙代、製本代のみで換算した金額である。

【委員の意見等】

ペーパーレス化の効果として、作業効率化が図られるということがあげられているが、時間の削減効果としてはどれくらいになるか。

【事務局次長】

時間の削減効果については、目に見えるかたちでの計算が困難である。

【委員の意見等】

見積に関しては、導入台数が50台想定での金額だと思うが、台数を減らした場合には、単純に台数分を減らす計算でよいか。

【事務局次長】

基本的には単価計算と思われる。スケールメリットがあるとは思われるが、大きくは変わらないと考えている。

【委員の意見等】

執行機関側でのタブレット導入に関する検討はどのような状況か。

【事務局次長】

タブレット導入の効果を最大限発揮するには、執行機関側も導入することが望ましいが、現状では、執行機関側も検討は始めているものの、具体的な決定には至っていない。

【委員の意見等】

議会側と執行機関側の両者が導入した場合に、タブレットやソフトの種類が異なっても問題はないのか。

【事務局次長】

同じものであることが望ましいが、特殊なものでなければ対応は可能と思われる。また、議会側の検討の状況に関しては、執行機関側にも情報は入れている。

【委員の意見等】

SideBooksの同期機能に関しては、議会と執行機関それぞれが同じソフトを使用して有効活用できる機能だと思う。また、会議内での資料の充実度に差が出るとなると、議会側が先に導入するとなると、執行機関側のことも考える必要がある。

【委員の意見等】

費用対効果を考えると、一律にタブレットを配付しても活用しきれないのでないかという懸念がある。個人の端末を持ち込み可能とすればよいのではないかと考えている。

【委員の意見等】

全員が一律に活用できる状態にすべきであり、年配の議員への配慮が必要である。

【委員の意見等】

タブレットの導入に後ろ向きになる気持ちもわからなくはないが、ペーパーレス化には取り組むべきである。かなりの経費がかかるので、違う方法の検討もあってもよいかと思う。

【委員の意見等】

費用対効果は検討ポイントとしては重要だが、現状は時間的な部分の人件費等の効果が見えていないため、費用対効果という視点では現時点では判断しかねる。

後ろ向きになる気持ちもわかるが、新たになにかを始めるときは、マイナスから入って当初の目的から逸れてしまうという状況に陥りがちである。物事を進めるということは考える必要がある。

【委員の意見等】

効果がすべて見えていない部分があるので、分かる範囲で効果を出してもらいたい。また、民間会社などでも、見積り金額をそのまま受け入れることは考えにくいので、その交渉を工夫してほしい。

【委員の意見等】

他区の削減効果の状況はどうなっているか。また、先ほどの年間55万枚の削減効果については、年間に使用する紙のうちどれくらいの割合なのか。

【事務局次長】

他区の状況は調べ切れていないが、概ね変わらないだろう。ただし、議員の人数にも依存すると考えると板橋区は多い方ではあると考える。正確ではないが、委員会資料としては年間で、大雑把ではあるが、印刷費では13万、紙代では11万、製本31万と考えると55万くらいと考える。

あとは各種計画など、議員配付をしたものは入っていないので、それらも入れるとだいぶ削減できると考える。

【委員の意見等】

タブレットの更新についてはどのように検討するのか。

【事務局次長】

それに関しては、ルールを部会メンバーで決めていく内容だと考える。

【座長】

最終的には部会での決定事項を議会運営委員会に返し、そこで決定していくような流れになるだろう。

【委員の意見等】

予決算の資料まで電子化するとなると、公文書館などにも紙としての資料が無くなると思うが、紙ベースの資料は導入後にすべてなくなるのか。

【事務局次長】

現状だと議会に出す資料の話なので、区としての資料に紙がすべてなくなるわけではない。他区の事例を見ていると経過措置的に併用していたりとかしているの、そこについては、部会で決めていければと考える。

【委員の意見等】

他区の先進事例として、導入した後の効果、メリット・デメリットは調査すべきだと考える。

【事務局次長】

第1回の部会の方でその資料は出させているのでご確認していただければと考える。

【委員の意見等】

タブレットを導入したら紙の使用枚数を減らすことが出来ることがメリット。但し、紙を使用していないことで例えば年配の方などが議会に入りにくくなったり、不利になることがないようにみんなが適応することが出来る仕組みは必要である。

【委員の意見等】

導入に踏み切る理由を明確にすべき。例として、紙の削減枚数や事務効率による人件費など、金額に落としこめるものは落としこんで、それ以外のものもわかるような形で示すようにしていただいて、使用するためのルールの部分でタブレットを全員に配る、自前のを利用するということと、紙資料を欲しい人に対するケアの仕方などを明確にすべきである。

【事務局次長】

個人端末の持ち込みについてはまさに IT 推進課と協議をすべきところで、それが出来ないなら全員の分のタブレットを用意しなければならないと考える。

紙の資料については、ルールを部会メンバーで決定すべきである。

個人端末の持ち込みの可否については、確認する。

【委員の意見等】

ペーパーレス化のメリットは金額だけでなく、検索性の向上と言うことが考えられる。

公平性ということを考えると同じ端末でもいいが、個人端末を持ち込むのもありだと考える。また、Wi-Fi環境は10～12階に整備してほしい。

【委員の意見等】

議論は様々あるが、持ち運びが容易に出来るものの方が望ましいと考える。持ち運びが出来ないと結局は2台持つ議員とかも出てきてしまう。タブレットの機種などは議論すべきではあるが、導入に向けては進めていくべきである。なお、タブレットは無いとしても、今年度から同時並行でペーパーレス化は進めていくことが出来る。そこの申し入れも含めて議会運営委員会に伝えるのはどうか。

【座長】

経費の総額を受けて衝撃を受けたと考える。経費はかかりますが、考え方として例えば、政務活動費を1人月額@1万円を経費に充てるとすると年間550万程度になる。または、タブレット端末をIpad ProではなくIpad Airにする。ペンシル、カバーなどの消耗品は各自負担とする。などなど、経費を抑える方法はある。他にもタブレット導入することで削減できる目に見えない効果もあるし、IT機器を導入した際の効果は概ね3～8%の間で考えられる。以上のことを踏まえ、①導入をしない、②個人端末を導入する、③全員導入の3パターンで検討していただき、意見を求めたい。

【委員の意見等】

個人の端末導入と、導入されたものを使用するパターンを併用する形はとれないのか。

【事務局次長】

契約の方法上、混在型は出来ない可能性がある。また、そもそも、個人端末を区のネット環境にアクセスすることが可能なかどうかは明確にできていない。セキュリティーの課題もあるため、今のパターンができるかどうかを確認して、次回に決めていただけるよう調査する。

【座長】

いずれにせよ、金額面で折り合えばタブレット導入すべきと考えるのか、金額関係なく導入はすべきでないかと考えるのか。確認をしたい。

【委員の意見等】

導入そのものに関しては、否定するものではない。ペーパーレス化は取り組まないといけない。金額が高かろうが導入はしたいと考えるが、費用削減。効果が見える化する。会議での使用方法などについてどのようにクリアにするか議論をすべき。

【座長】

ご出席の委員の皆様の意見をまとめ、導入は是とし、議論をすすめる。それでは、一部導入なのか、全員分導入なのかを議論したい。前段の議論より、費用対効果、経費削減、導入することによる議会の会議がどのようのに深まるか。活性化するのかについて議論したい。座長提案となるが、2年間でのスケールメリットは4年間と比較すると少ないので、端末代を抑えるためにもP r oではなくA i r。消耗品（ペンシル、カバー）についてもなしで、今出ている業者以外からも見積をとっていただきたい。

【委員の意見等】

金額を押さえようとしてスペックの低いものを導入すると失敗することがある。現時点では最新のI p a d P r oを導入すべきではないか。消耗品（ペンシル）もデモを通じ使用することが前提であったと考える。また、端末を一律導入せず、個人端末で対応するとなるのであれば、通信料の公平性を考えると少なくともW i - F iは入れるべきであると考えている。

【座長】

庁内のWi-fi設備については別の議論として承っている。

iPad Proの金額は提示している。iPad Airの見積もりと、使い勝手を確認し、検討する。

【委員の意見等】

iPad Pro と iPad Air の機能に差はあるのか。

【座長】

iPad Proは顔認証ができ、iPad Airにはホームボタンがある。容量は同じものを選べる。内部のエンジンは違うが、動画を見なければ違いがわからない。iPad Air レベルの機種を使用したことがあるが、動画を見ていて苦労したことはない。

【委員の意見等】

災害時に持ち運ぶことを考えると、iPad Proは大きすぎると思う。導入するのであれば、小さいもののほうがよい。

【委員の意見等】

一人一人が使いこなすためには、使い勝手がいいものがよい。議員ごとの希望によって機種を選ぶことはできないか。

【事務局次長】

区の契約と業者の仕組みを確認し検討する。

【委員の意見等】

iPad の比較について補足したい。iPad Air だと Apple Pencil 2 が使用できない。

iPad Pro だと Apple Pencil 2 が使用でき、タブレット本体につけておくだけで充電ができるため紛失の心配がない。

【座長】

機種についてはこの程度でご了承願う。

経費削減については、たとえば議会全体で政務活動費をひとり1万円ずつ減額する取り組みを行うなど、提案があれば次回までに用意を。

【事務局次長】

検討項目1については、レンタルと持込みで使用する場合の比較、iPad Pro、iPad Air の機種の比較について改めて条件を提示するので検討を。

検討項目2については、議論の中でレンタルか各自調達で比較することとなったため保留とする。

【座長】

項目3 機種通信は wi-fi 単独か wi-fi とセルラーか。

【事務局次長】

IT 推進課と打ち合わせを行い、接続についてや端末の持ち帰りの可否について相談した。持ち帰りについては前例がないため、引き続き検討させていただく。IT 推進課との打ち合わせで確認すべき項目があれば意見を頂きたい。

【委員の意見等】

端末持ち帰りについて、他区の事例を調べていただきたい。持ち帰りができないと、災害時にも活用できないので、できない場合は大きい iPad Pro でもいいと思う。

【委員の意見等】

端末の使用方法として、契約したクラウドにアクセスすることになるが、それでも持ち帰りが難しいのか。個人情報載っていないものや、計画書や構想など、

その端末でどこまでアクセスできるのかというルール化をすればいいのではないかな。

【委員の意見等】

個人情報が含まれたファイルをクラウドに入れられないのであれば、陳情などは、結局紙で持ち帰ることになるだろう。

選択されたデータのみクラウドに保存するのに、持ち帰りができないのはおかしいのではないかな。区の仕事のやり方として、持ち帰りを想定していないだけではないかな。

【座長】

非常勤である議員としては仕事の形式上、自宅で作業をすることしか考えられない。座長として、持ち帰りができる前提で進めている。

【事務局次長】

端末の紛失や接続するサーバなど懸念事項が多いと思われる。弾力的に相談を行っていくので、今後も意見を頂きたい。

【座長】

項目4 タッチペンとタブレットカバーについては、タッチペンは必要との意見が出た。見積もりが出てから検討したいと思う。

項目5 SideBooks と moreNOTE について、利用料について説明を。

【事務局次長】

SideBooks の見積もりは、例として45名の福島市議会のを参照している。初期設定費用8万円、月額利用料7万5千円。

月額利用料の内訳は基本料1ギガバイト込みで2万円、クライアントライセンス50名までで1万円、クラウドの容量10ギガバイト追加で4万5千円。

【座長】

Sidebooks のデモの際のアンケートで、クラウドストレージとして料金が高すぎるとの意見があった。moreNOTE の利用料はどうか。

【事務局次長】

モアノートの初期導入経費が85,500円、月額使用料が58,200円、45名分での金額である。

【座長】

Drop Box のセキュリティ上の怖さをご承知のとおりだと思う。自前サーバーを活用の方が相当な負担と費用がかかり、セキュリティとしても難しいのが現

状だと思う。クラウドはサイドブックスかモアノートの2択ということによいか。

【事務局次長】

モアノートのデモも行った方がよいか。

【委員の意見等】

サイドブックスのように実際に操作してみた方が良いと思う。

【事務局次長】

了承。後日日程調整を行う。

【委員の意見等】

サイドブックスやモアノートを入れないとどうなるのか。

【委員の意見等】

サイドブックスやモアノートによりファイルの管理がしやすいことや、手書きメモを追加できる機能があるので、必要だと思う。

【委員の意見等】

Drop Boxのようなものを入れるとシステムに精通している管理者がいないと権限管理が煩雑になる。サイドブックスのようなものは管理がしやすいのでそこをどう考えるか。個人的な意見としては何もないPCを管理するより、専用で作られたものを管理する方がメリットが大きいのではと考える。

【委員の意見等】

サイドブックスとモアノートの導入実績が資料では比べにくい。高額なものなのでモアノートもデモの機会があった方がよいのでは。

【事務局次長】

業者にいつ行えるか確認する。

【座長】

今後、議会だけでなく理事者も導入することになった場合、議会が導入したものに理事者も合わせる事が想定される。サイドブックスとモアノートの1番の違いは、モアノートにはオフィス編集機能がついているが、サイドブックスは文字化けする可能性があり、編集できないことである。今後、議会と理事者が業務を進めていくにあたりデータのやりとりはどのようにして行うのか。モアノートではエクセルを編集できるため、理事者からデータをもらった時に対応しやすいのではないかと。今回座長案として、ワードやエクセルの閲覧が可能なMicrosoft Office Mobileを入れたが、モアノートであればMicrosoft Office

Mobile は不要となり、利便性が高まる。デモの日程調整をお願いしたい。

【事務局次長】

理事者から送付されるデータは、修正できないよう PDF で送付されるのが現状と思われる。デモの日程については調整する。

【座長】

続いて項目 6 その他のシステム・アプリについて検討する。Microsoft Office365 はモアノートの場合は不要になる。どのアプリを入れるかは細かい議論となり、随時入れることも可能である。一方で、LINE WORKS だけは連絡ツールになるので入れるかどうか決定しておいた方が良いと思う。災害時の連絡手段として使用できるとの意見もあるので、LINE WORKS は入れる方向で進めたいが、いかがか。

【事務局次長】

導入時の経費について確認する。

【委員の意見等】

万が一、災害時に LINE のサーバーが落ちてしまった時のため、他の連絡手段となるものも入れておいた方が良いと思う。

【座長】

それについては後日検討する。いずれにしろ、LINE WORKS は入れるということによいか。事務局には LINE を使用していない議員がどれくらいいるか確認願う。

本日検討、決定した内容については各会派で周知願う。次回検討会の内容については改めて検討し、お知らせする。以上をもって、第3回検討会を閉会する。